

47—48.
 クリーンジャパンセンター (1990):「クリーンリサイクル」, 21—24.
 クリーンジャパンセンター (1991):平成2年度「再資源化貢献事業表彰」について, 産業公害, 27, 284—292.
 倉坂秀史 (1989):リサイクル促進のための法制度の検討経緯について, 産業公害, 27, 370—374.
 庄司隆一 (1989):産業廃棄物の問題点, 産業公害, 25, 485—489.

外山茂樹(1991):「地球環境と資源循環」, 化学工業社, p. 89
 内藤 豊 (1991):紙(古紙)及び紙パルプ製造業について, クリーンジャパン, 87, 8—11
 森田 巖 (1989):石炭灰の再資源化, 産業公害, 25, 513—520

UMEZAKI Yoshimi (1992): Recycling of wastes.

<受付: 1991年10月29日>

.....地学と切手.....

ニューファンドランドの鉱業切手



ニューファンドランドはカナダの東端にある一州。本土のラブラドルとニューファンドランド島(うち島が110,681km²)とからなる。首都は島の東端セントジョンズ,面積約402,393km²で日本の1.1倍,人口は1961年に457,853人で日本の200分の1である。15世紀の終り1497年コロンブスのアメリカ発見に遅れること5年にしてイギリス王ヘンリー7世によって領有が宣言されたと言う古い歴史を有している。そして西隣のケベック州とは違って英語が使用されている。しかし18世紀から市民政府が発足し,代議制の成立は1832年である。カナダに加盟したのは実に1949年であり,それまで大英帝国の自治領として独自の政府を持ち,独自の切手を発行していた。

ニューファンドランドの鉱産物で最大のものは鉄鉱であり,次いで銅・鉛・亜鉛とつづくが,螢石も重要な鉱産物で,カナダの全量はここから産出される。

鉄はニューファンドランド島の北東にあるベル島から産出される。鉱石はスペリオル湖型の主に赤鉄鉱で,ワバナ鉱山は1895年から操業されている。本土のラブラドルにあるルスレーク鉱山は1955年にフル生産を開始し,鉱石を鉄道でケベック州の港へ送っている。

銅・鉛・亜鉛はブッチャン鉱山で1905年にすでに発見されていたが,当時は有利な選鉱方法が見出さず,本格的操業は1925まで待たなければならなかった。鉱石はポットウッドへ鉄道で送られ,そこから船積みされている。螢石はプリン半島のセントローレンスで産出し,1933年から生産開始された。2つの会社が操業しており,1955年には両社合わせて135,000tを出鉱し,カナダ本土やアメリカへ船積みされている。セントローレンスは世界における螢石の主要な生産地の一つであり,その鉱山は約1,000万tと推定されている。

5c 1897年発行の銅鉱山切手 ニューファンドランド発見400年と,ビクトリア女王60年を記念して発行された14種のうち,ちなみに世界の鉱山切手で最初のものである。カタログではニューファンドランドの銅は1864年に発見され,鉄や鉛がそれにつづいたとある。minig one of the colony's resources と書かれている。

24c ベル島の鉄鉱石船積みの様子。最初1932年に普通切手として発見され,1937年にジョージ6世戴冠記念として彼の肖像が加えられ再発行された。

(P. Q.)